

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成14年7月期)

水質概要

7月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層26.1、中層26.1、下層25.8)と比較して1~2程度高い分布を示した。図1に示すように、7月の水温は23~32で変動しており、7月下旬に向かうほど水温が高くなる変動を示していた。水深による顕著な差異は見られなかった。

7月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層7.6psu、中層11.3psu、下層12.3psu)に比べて、低い値を示していた。また、7月観測においては、高塩分水の遡上はほぼ周期的に確認された。西方流速が卓越する7月6日、7日、16日に塩分が上昇していることから、高塩分水が流入していることが分かる。

7月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層は、4.4~4.5mg/lと変動が少なく、中層・下層は、3.7~4.6mg/lの変動であった。(平均値:上層:4.4、中層:4.2、下層:4.0)。概ね4mg/l以上の変動であり、顕著な貧酸素水の流入は見られなかった。

図1に示すように、顕著な変動は見られなかった。

表1 7月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		()	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	25.4	6.2	4.5
	中層	25.4	7.7	4.5
	下層	25.3	7.7	4.6
中旬	上層	26.7	5.5	4.4
	中層	26.5	8.3	3.9
	下層	26.4	9.3	3.7
下旬	上層	29.5	7.2	4.4
	中層	29.3	8.6	4.2
	下層	29.3	9.9	3.7
月間平均 (7月)	上層	27.3	6.3	4.4
	中層	27.1	8.2	4.2
	下層	27.1	9	4

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

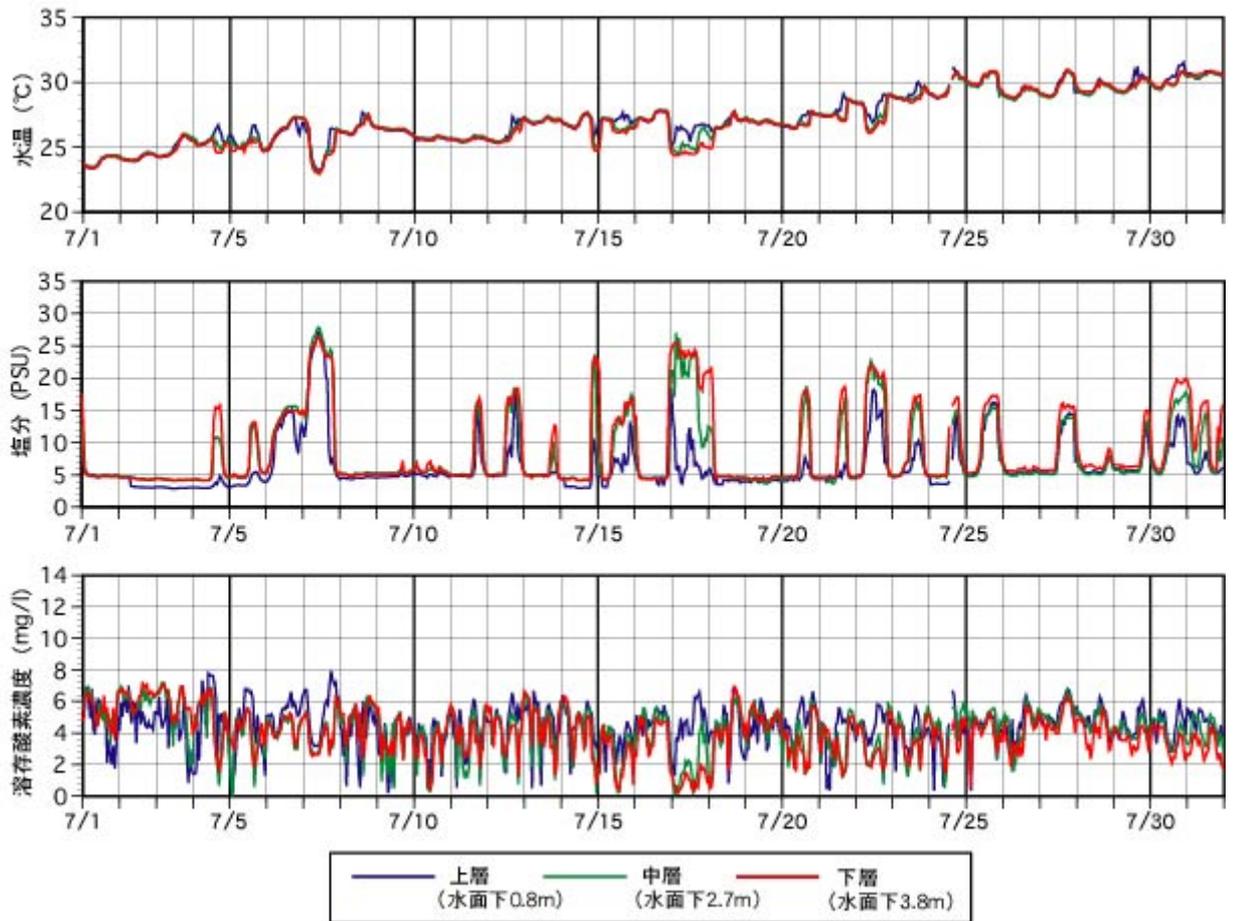


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

図2に示すように、7月の顕著な気圧変動は、全体として990hPa以上の変動であった。平均気圧1004.7hPaは、平年値（平年値1008.0hPa）と比較して低かった。

表2に示すとおり、7月の日射量は、0.1192MJ/m²であり、6月と比較して若干低い値を示していた（6月平均値：0.1356MJ/m²）。

7月の風向・風速は、平均風速1.2m/sec（平年値3.2m/sec、西風）であり、平年並の値と比較して低かった。

表 2 7月期の気象概要

	気温 ()	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m ²)
上旬	25.4	1004.9	1.1	南	0.0967
中旬	25.9	1000.8	1.1	南南西	0.1004
下旬	28.5	1008	1.5	南	0.1567
月間平均 (7月)	26.6	1004.7	1.2	南	0.1192

(平年値は、平成 11 年気象の暦 (山陰版) (財) 日本気象協会中国センターより引用)

(表中の数字は、平均値を示す)

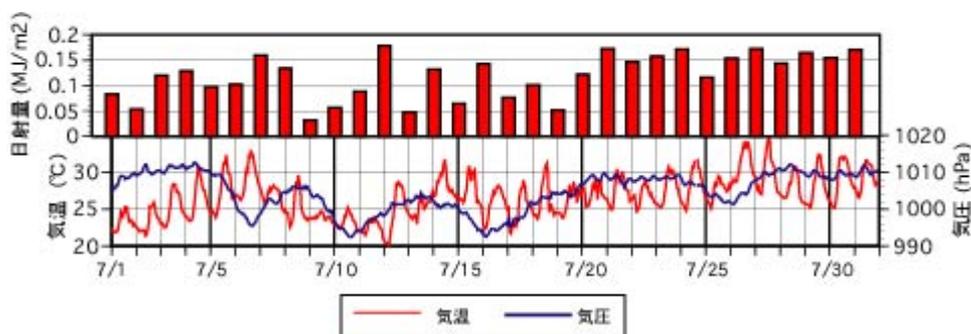


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

7月の平均東方流速は、上層 7.7cm/sec、中層 12.0cm/sec、下層 11.5cm/sec であった。7月の東方流速は、潮汐による往復流が見られた。

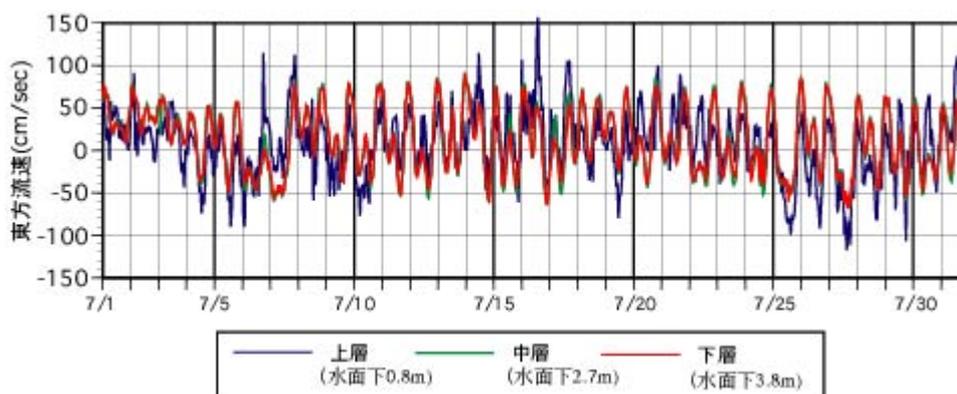


図 3 東方流速の時系列変化
